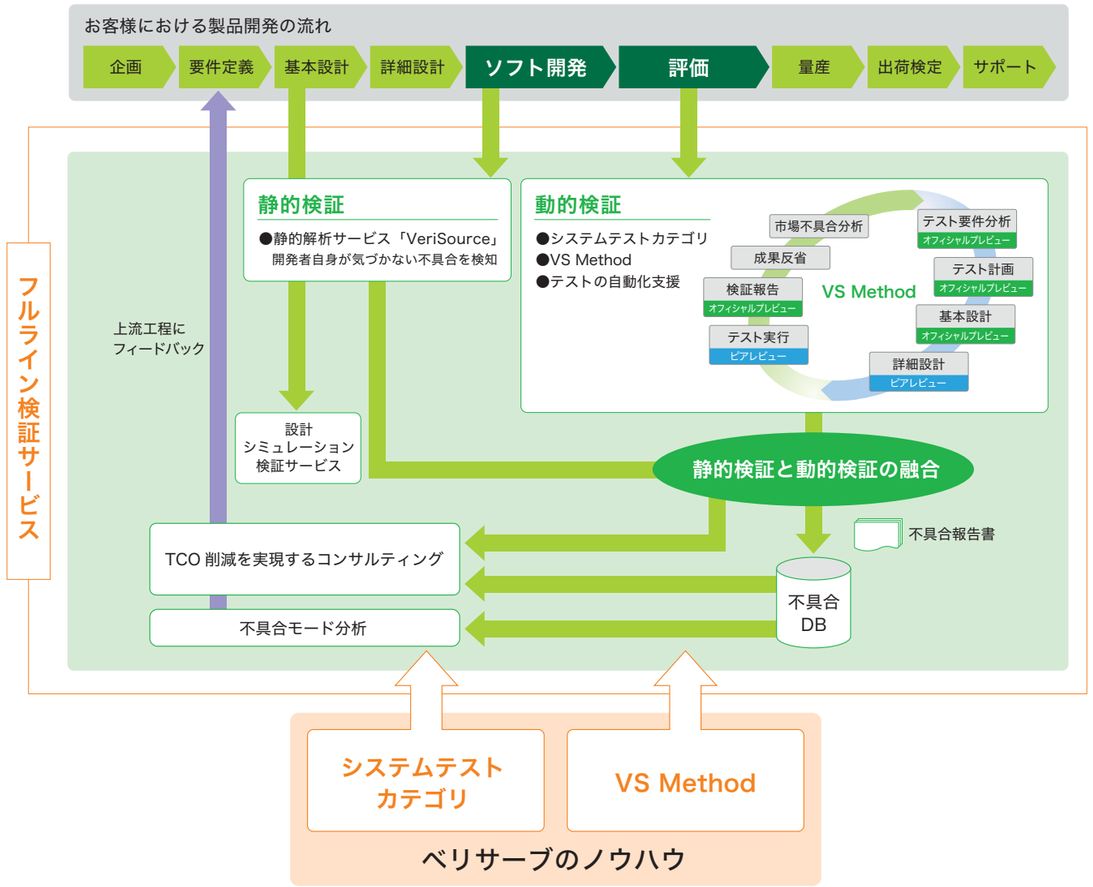
検証結果をより有効に活用するため

ソフトウエアの規模が拡大するなか、開発者には多くの負担がかかっています。当社では、より客観的な立場で、ソフトウエアの品質管理をご支援する第三者検証を掲げ、システム検証サービスを提供しています。

当社では、お客様のプログラムを解析した結果をさらに有効に活用するため、次期開発のための注意すべき事項のフィードバックや動的検証における様々な検証サービスを提供し、お客様のトータルコストを削減するご提案をさせていただいております。



株式会社 ベリサーブ

https://www.veriserve.co.jp

私たちの使命は、
市場に投入されるIT関連製品およびシステムの検証を通じて、
より快適なIT社会づくりに貢献することです。

本社
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-16 神保町北東急ビル9階
TEL:03-6629-8540 FAX:03-3288-8223

西日本支社
〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-8-16 大阪証券取引所ビル19階
TEL:06-6223-6110 FAX:06-6223-6111

中部支社
〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉2-27-14 東海関電ビルディング13階
TEL:052-325-5010 FAX:052-325-5030

VeriSource
詳細ページはコチラ

※VeriSource・フルライン検証・VSMethodは当社の登録商標です。その他掲載されている会社名、製品名等は各社の登録商標です。

SC1911_001J

VeriSource

ソースコード静的解析サービス

—静的解析・運用サービス—

VERISERVE

単なる解析サービスではなく、
検証に特化した視点からシステムテストカテゴリや
VS Method などの当社独自の検証ノウハウを組み合わせ
お客様のソフトウエアの課題を解決いたします。

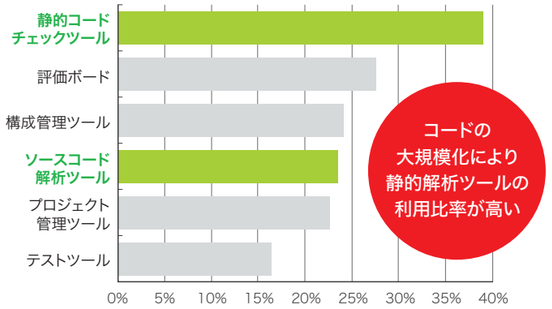
VeriSource サービス

ソフトウエアの規模が拡大するなか、より効率的な開発を進めるため、多くの企業で様々なツールが導入されています。しかしながら、必ずしも十分使いこなせているとは言えないようです。
VeriSourceサービスは、お客様で開発されているプログラムに対して、静的解析を行い内在されるリスクポイントを洗い出し報告するサービスです。

静的解析サービスとは
▽
最適な静的ソースコード解析／チェックツールと検証技術者を組み合わせたサービスです。

製品開発におけるツール類の活用状況

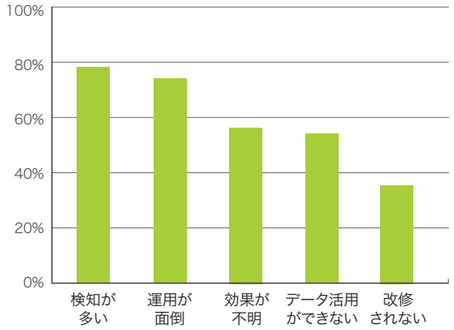
■組み込み開発におけるツールの利用状況



出典：経済産業省　2009年版組込みソフトウェア産業実態調査報告書
―プロジェクト責任者向け調査―より抜粋

静的解析ツール運用の問題点

■静的解析ツールに対するアンケート（複数回答）

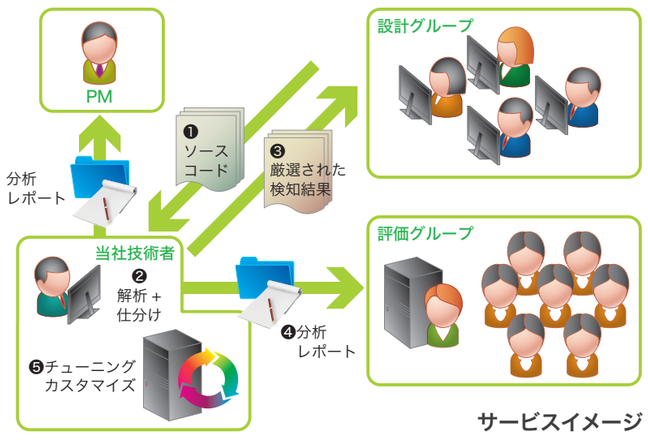


2008-2011年当社調べ

ツールは導入はしたものの、機能を活かしきれてない。

お客様に代わって、
ベリサーブがツールを
使用したテストを代行し、
お客様にフィードバックします。

問題点を体系的に
抽出することで
開発スピードの効率化を
実現します。



サービスイメージ

メリット1 設計部門の負荷低減

- ツールのアウトプットに対し技術者が２次解析を行い、誤検知除去および検知結果の優先順位付けを行います。
- 当社専門技術者が２次解析を実施することにより、お客様が運用するよりも効率的です。
- 要員をアサインすることなくスムーズな立ち上げが可能です。

メリット2 不具合を作り込まない

- ツールのアウトプットを分析し、どのチームがどのような間違いが多いのか分析を行います。
- ソフトウェアメトリクスを分析し、貴社の弱い部分を指摘します。

VeriSourceサービスをご利用いただくメリット
ツールを活用し、問題点を洗いなおしお客様にご報告することで、より高品質な開発体制をサポートします。

メリット3 解析精度向上

- ツール標準のチェック項目で見つからないようなお客様固有の問題にカスタマイズ・チェッカを作成することで対応いたします。
- ソースコードのないライブラリ等を関数モデル化することで解析精度を向上します。

メリット4 短期間で技術習得

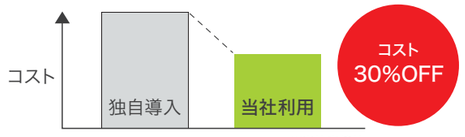
- 静的解析ツールの導入支援を行います。
- 開発者に対するOJTトレーニングを実施します。

フルライン検証サービスを活用し、静的・動的検証を統合しトータルコストを抑制します。

費用対効果

コスト効果

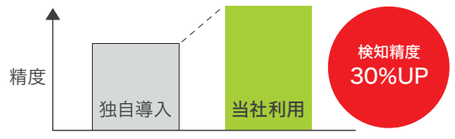
- ツールに熟練した専任技術者が仕分けと検知結果を加工することにより、自社運用よりも30%コスト削減。
- 開発規模により、柔軟に人員をアサイン。（例：0.7人月等）



※当社実績値

検知品質

- チューニングにより検知精度を向上。
- 貴社に合わせた検知ルールを作成することにより、検知品質を向上。



※ツールをデフォルト運用した場合との比較。当社実績値

サービスご提供フロー